

#### 4 小学校中学年用「公園のさく」 指導例

中学年の児童は、気の合う友達と遊ぶ中で行動範囲が広がり、自分たちで様々なことを決めるなどの傾向が見られる。こうした時期に、社会生活上のルールやきまりなどについて理解し、それらを遵守するよう指導することが大切である。本資料では、身近な公園にあるルールを取り上げ、そのルールがなぜ決められているのかということに初めて思い至る主人公の姿を描いている。ルールやきまりの意義について考える機会とすることはもちろん、ある行動を取ることで、その後どういう影響が考えられるかという想像力を働かせることは、道徳的判断力を育む上で重要であると考え、本資料を作成している。

展開前段では、ヤスヒコたちの思いを中心に、自分たちの楽しみのために深い考えもなくルールを破ったことや、自分たちの安全という視点からしかルールの意味について考えられなかったために起こった出来事について、じっくりと話し合えるようにしたい。話し合いを通して、社会生活上のルールやきまりの意義について考えを深めるとともに、それらを遵守することは社会生活における義務でもあるということを理解させることが大切である。また、展開後段では、身近な生活の中にあるルールやきまりについて振り返るようにし、それらがどうして決められているのか、守らなければどのようなことが起こると考えられるのかについて話し合い、規範意識を高め、道徳的判断力を培うようにしたい。

- ◆ **主題名** 大切なきまり      指導内容 中4－（1）
- 資料名** 公園のさく      （奈良県教育委員会）

#### ◆ ねらい

自分たちの楽しみのため、深い考えもなくルールを破ったことから起こった出来事と、それを知ったときのヤスヒコの深い後悔について話し合うことを通して、ルールやきまりの意義について理解し、それらを遵守しようとする態度とともに道徳的判断力を培う。

#### ◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、公園を使うときのルールについて話し合う。	○ 公園を使うときのルールはありますか。 ・ゴミは持って帰る。 ・野球は禁止されている。 ・自転車は決められた所にとめる。	・実際に守っているかを振り返ることがねらいではない。ここでは出し合うだけにとどめ、展開後段での話し合いにつなげるようにする。	
展 開	2、資料「公園のさく」を読んで話し合う。	○ 新池公園で遊び始めたとき、ヤスヒコはどんなことを思っていたでしょう。 ・今日もゲームを楽しむぞ。 ・今日もハルキ君、遊具で遊ぶのかな。  ○ さくの上にこしかけて休けい	・ヤスヒコの思いとともに、新池公園がどんな公園であるかなどの状況も併せてとらえられるようにする。  ・二人だけの秘密の場所で	

展 開	3、自分を振り返る。	<p>することを、ヤスヒコはどう考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秘密の場所なので、そこで休憩するのがとても楽しみ。</li> <li>・落ちてけがをするような失敗はしない。</li> <li>・池に入るわけじゃないからいいだろう。</li> </ul> <p>◎ ハルキ君のけがのことを聞いたヤスヒコは、どんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハルキ君、きっとぼくたちのまねをしたんだ。</li> <li>・まさかこんなことになるなんて。ぼくは、自分たちのことしか考えていなかった。</li> <li>・ぼくが、ちゃんときまりを守っていればこんなことは起こらなかったのに。</li> </ul> <p>○ 身の回りには、どんなルールがありますか。また、どうしてそのようなルールがあるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園で野球が禁止されているのは、小さい子どもも安心して遊べるようにするためだろう。</li> <li>・自転車を決められた所にとめず、好きにとめると危ないだけでなく、いざというときに救急車なども入れなくなるからかな。</li> <li>・廊下を走ると、それを低学年がまねしてけがするかもしれない。上の学年が気を付けないといけない。</li> </ul>	<p>あることや、さくはそんなに高くないこと、乗り越えて池に入ることはいけないと考えていることを押さえ、深い考えや悪気なしにさくに上っていたヤスヒコたちの思いをとらえられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母の話を聞いて、じっと黙って思い巡らせているヤスヒコの気持ちを考えるようにし、無関係であると責任逃れをすることなく、想像もできなかったことが自分のせいで起こったのではないかと恐れているヤスヒコの後悔と責任感に共感できるようにする。</li> <li>・ワークシートに書き込むことでじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにする。</li> <li>・導入での公園のルールをここで振り返り、守らなければどのようなことが起こると考えられるかを想像するなど、それらルールの意義について具体的に話し合い、規範意識や道徳的判断力を高めるようにする。また、実際にルールを守っているかについても振り返り、ルールを遵守しようとする態度を培うようにする。</li> </ul>	ワークシート
	終末	4、「私たちの道徳 小学校三・四年」を開き、考えたり書き込んだりする。	<p>○ 「私たちの道徳」118～121ページを開きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちの道徳」を活用したり、指導者の体験を話したりするなど、ルールやきまりの意義を考えて遵守しようとする思いを温めるようにする。</li> </ul>	「私たちの道徳」

※「私たちの道徳 小学校三・四年」は、次のURLよりダウンロードできます。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/doutoku/detail/1344253.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/detail/1344253.htm)